

現役教員に聞いてみた!～幼稚園編～

京都市立伏見南浜幼稚園
佐々木 友香 教諭
出身地：京都市
採用年度：令和3年度



「涙が出る日もあるよね」と泣いている私を肯定してくれた先生に憧れて教員を目指しました!

教員を目指したきっかけを教えてください!

幼少期、私は登園渋りの多い子どもでした。年長の時の当時の担任の先生が、泣いている私に「涙が出る日もあるよね」と泣いている姿を肯定してくれたことが、教員を目指すきっかけになりました。



教員になって悩んだことはありますか? またそれをどう乗り越えられましたか?

子どもたちが遊びを広げていく環境づくりに悩むことがあります。自分が見ている子どもたちの姿だけでなく、他の教職員の方からも、「今日、こんなこと楽しんでたよ」と教えていただくことで、子ども一人一人の『楽しんでいること』や『伸びようとしていること』が明確になり、環境についても工夫することが出来ました。

悩んでいることを一人で抱え込まず、他の教職員の方のとらえ方や考え方を知り、共に多角的に見つめていくことの大切さを日々痛感しています。

京都市を目指す方に一言お願いします!

京都市の教育は、本当に魅力的であると日々実感しています。子どもの成長に触れ、共に成長していくことができる教員という仕事は本当に素晴らしいと感じます。校種を越えた関わりや、翌日から生かすことができる学びの場も多く、毎日学ぶことが出来る環境があります。

京都市で皆さんと一緒に働くことが出来ることを楽しみにしています!



教員になってよかったと思った瞬間を教えてください!

毎日、子どもたちの成長の瞬間に出会えることです。

お弁当を食べることが苦手だった子どもが「先生見て!」とピカピカに完食したお弁当を嬉しそうに見せてくれたり、虫が苦手だった子どもが少しずつ虫に心を寄せていくようになったり・・・。

日々の経験や保育の積み重ねが子どもたちの『成長』に繋がっていることを実感できます。「できる」「できない」ではなく、子どもたちの『今』の心の動きを知り、共に喜べるのが幼稚園教員の魅力だと感じています。

現役教員に聞いてみた!～小学校編～

京都市立藤ノ森小学校
山田 健輔 教諭

出身地：京都市

採用年度：令和3年度



1年目で不安も多かったですが、初任者指導教員や学年の先生方に支えていただきました!

教員を目指したきっかけを教えてください!

私は小学生の頃、人間関係に悩むことがありました。5、6年生のときに担任して下さった先生に、人との関わり方、居場所のつくりかたなどを教えてもらい、クラスを自分の居場所にすることができました。その先生に憧れ、当時の自分と同じように、人間関係に悩む子どもたちを支えたい、学校を楽しい場所だと感じてもらいたいと思い、教員を目指しました。



教員になって悩んだことはありますか? またそれをどう乗り越えられましたか?

大学を卒業してすぐに教員になったため、何もかもが初めてでしたので、授業づくりのことや子どもたちとの関わりのこと、成績のことなどわからないことだらけだったのでとても悩みました。毎日、授業や指導がこのままでいいのかとても不安でしたが、悩むたびに初任者指導教員の先生や学年の先生たちにアドバイスを頂いたり、手助けをして頂いたりして克服することができました。

忙しいイメージのある教員の仕事ですが、学校での働き方改革について教えてください!

自分の中で時間のリミットを設けて、終了時間から逆算し、今できることは何かを考えて仕事の順番を決めています。

また交換授業を設定して仕事を分担したり、非常勤講師、校務支援員、学生ボランティアの方のお力をお借りしたりすることによって、教材研究の時間や子どもたちと関わる時間を多くもつことができています。

授業におけるICTの活用について教えてください!

主に算数科と社会科はパワーポイントを使って授業を進めています。動きがあって分かりやすく、教員自身も指導する内容を整理できるのでとてもいいです。

また、一人一台タブレット端末が配布されたので、理科の実験結果をExcel入力してグラフを作成したり、国語の教科書を画面に映して、段落や印などの書き込みをたくさんしたりしています。

京都市を目指す方に一言お願いします!

京都市は世界トップクラスの魅力的なまちです。まち全体が教科書と言っても過言ではありません。こうした場所で教員として仕事をするので、刺激のある毎日を過ごしています。

ぜひ私たちと一緒に京都市の子どもたちを育てましょう!



現役教員に聞いてみた!~中学校編~

京都市立京都御池中学校
竹内 孝幸 教諭

出身地：京都市
採用年度：平成28年度
教科：保健体育



卒業式で、成長した生徒の姿を見送ると、教員になってよかったと感じます!

教員を目指したきっかけを教えてください!

幼少期から体を動かして遊ぶことが好きで、様々な運動を行ってきました。初めて行う種目でも、自分なりにコツを見つけ、技を習得した時に、運動の楽しさを感じていました。多くの生徒が、私のように、体育の授業を通して運動の楽しさに気付いてほしいと思い、教員を志望しました。



関わる機会が多くありました。様々な経験をしたり、サポートをいただいたので、それを京都市の生徒に還元していきたいと考え、京都市を選びました。

採用されてすぐは不安も尽きなかったかと思いますが、どのように乗り越えられましたか?

初任者研修で、同期職員と横のつながりができたことは非常に大きかったと感じています。授業展開の情報交換、その他分掌の相談など、同期だからこそ気軽に相談できる関係が支えになりました。また、授業を他者に見てもらったり、評価してもらうことは、自身の授業力の向上にも大きくつながると感じています。

京都市を目指す方に一言お願いします!

思春期で不安定な時期の生徒と関わることは、楽しいことばかりではありませんが、その分返ってくるものも大きいです。そこに教員としてのやりがいを感じます。たくさん経験を重ねて、教員採用試験に向けた勉強も頑張ってください。

「時間がない」と思わず「時間を作ること」を大切にしましょう。



教員になってよかったと思った瞬間を教えてください!

特に、中学校3年生の担任をもった年の卒業式は、成長した卒業生の姿を見送ることで、教員になってよかったと感じます。どれだけ手がかかっても、最後に「いろいろお世話になりました」「迷惑をかけました」という言葉でそれまでの苦労や費やした時間が無駄ではなかったと実感できます。

数ある自治体の中から、京都市を選んだ理由を教えてください!

大学生時代に、京都市立学校の総合育成支援員や外部コーチとして、中学校の先生と

現役教員に聞いてみた!～高等学校編～

京都市立塔南高等学校
松田 賢太郎 教諭
出身地：福岡県
採用年度：平成29年度
教科：国語



生徒が夢中になって学べる学校を目指し、令和5年度開校の新たな高校づくりに取り組んでいます!

教員を目指したきっかけを教えてください!

最初のきっかけは中学生の頃、勉強を教えた友達に「とてもわかりやすかった。ありがとう。」と言われ、嬉しくなったことです。

そこから、人に教えることの喜びとともに、勉強することで自分の世界が広がる経験に面白さを感じ、これを多くの子どもたちに感じてもらいたいと思い、教員を志望しました。

現在、新しい普通科系高校の改革に関わっておられますが、新校に込める思いを教えてください!

新校名が「開建」に決まりました。「次代を拓き、新たな創造を生み出す」という願いが込められています。今は「個性」や「やりたいこと」が尊重される時代であるとは言え、生徒全員がやりたいことを確立しているわけではありません。

新校では、生徒が楽しみながら夢中になって多くを学び、様々な経験を通して新たな価値を創造し、本当に自分のやりたいことを見つけられる学校生活を送れるよう、教職員一丸となって構想を進めています。



数ある自治体の中から、京都市を選んだ理由を教えてください!

古典に興味があったので、物語の舞台で溢れている京都市で働くことが夢でした。古典以外にも近現代の有名な小説の舞台としてもよく出てくる京都市で働くことは国語科教員として、とても魅力があります。

また、京都市は学生の街と称されるように、新たな文化が入ってくる都市としての性格も併せ持っているため、教育の分野においても伝統と新しさが融合する京都市で働けることは、非常に誇らしく思います。

授業におけるICTの活用について教えてください!

現代文の授業で、ロイノート(授業支援ソフト)を使い、生徒同士の擬似討論を行っています。実際に向かい合って話さなくても生徒同士で意見交換が行える点は、ICTを活用する最大の利点だと感じています。古典の授業で、インターネットに上がっている京都の古地図を全員で参照して物語を読み進めるなど、手元にない資料を簡単に使うことができる点もいいですね。



京都市を目指す方に一言お願いします!

京都市立の高校数は多くはないですが、とてもアットホームです。伝統と新しさが息づく街で、ぜひ一緒に楽しんで働きましょう!

現任教員に聞いてみた!～総合支援学校編～

京都市立桃陽総合支援学校
橋本 瑞希 教諭
出身地：京都市
採用年度：平成29年度

※令和4年度から西総合支援学校に異動



院内学級の授業では、タブレット端末とTV会議システムが欠かせません!

教員を目指したきっかけを教えてください!

「ひとりで叶えられる夢の数には限りがあるけど、学校の先生は、みんなの夢を叶える一部分になれるから、すごいおもしろいし、幸せやで。」中学生の時に聞いた先生の一言が、「教員」という職業を意識する最初のきっかけとなりました。

高校でも生徒に寄り添い、励まし、一緒に進んでくださる先生方に出会い、「私も生徒と一緒に夢を叶えていきたい!」と思うようになりました。

授業におけるICTの活用について教えてください!

院内学級の授業では、担当教科の授業、道徳・学活・総合的な学習の時間・自立活動など、全ての授業でタブレット端末とTV会議システムが欠かせません。

5つある院内学級や、本校・病室・自宅にいる生徒同士をつないで、授業をしています。

人数は多くないですが、同学年の仲間と一緒に過ごし、意見交流をしながら学ぶ時間は、入院している生徒にとって大切な時間になっています。



桃陽総合支援学校について

病气やけがで入院している小・中学校の児童生徒が学ぶ学校です。「教育の場」として「本校」「国立病院(京都医療センター)分教室」「京大病院分教室」「府立医大病院分教室」「第二赤十字病院分教室」「市立病院分教室」、そして京都市の東部と南部の病院に入院している子どもたちには「訪問教育」があります。

職員室の雰囲気について教えてください!

職員室では、子どもの様子を伝え、相談しやすい暖かい雰囲気があります。また、授業中も病棟へ連絡が必要になることが多く、気が付いた教員が積極的にフォローしながら、授業を進められるようにしています。

お互いを思いやり、笑顔も多く、にぎやかな雰囲気なので、安心して楽しく仕事ができます。

京都市の研修体制について教えてください!

総合教育センターでは、長期休業期間中に、様々な研修が実施され、特別支援教育に関する研修だけでなく、小・中学校の先生対象の研修でも、受講可能なものがたくさんあります。

人権教育や、やさしい日本語の研修では、他校種の先生の経験を伺う機会が多くありました。様々な経験に裏付けされた、深い意見に触れる機会が多くあり、研修に参加することで、自分の視野を広げることができました。

京都市を目指す方に一言お願いします!

忙しい毎日ですが子ども達の素敵な姿や、新しい発見があるお仕事だと思っています。ぜひ自分の力を信じて頑張ってください。応援しています!

現役教員に聞いてみた!～養護教諭編～

京都市立常磐野小学校
吉田 和美 養護教諭
出身地：京都市
採用年度：平成31年度



同期職員や研究会などの横のつながりから、
学びを深めることができました!

教員を目指したきっかけを教えてください!

もともと生き物や人体に興味があり、そこから生き物係や保健委員会、中学生の時は保健委員長をしていました。その中で関わりの多かった保健室の先生の仕事ぶりや、手当が楽しそうなこと、体は小さいのに力強くある様子を見て、憧れを持ったことがきっかけです。



を参考にさせてもらうなどして困りを解決することができました。

また、研究会で他校の先生との交流もあり、各学校の取組等から学びを深め、子どもへのより良い関わり方ができるようになりました。

授業におけるICTの活用について教えてください!

健診前の保健指導の時間がとりにくくなったので、健診の待ち時間に手洗いの歌や、指導のパワーポイントを流すなどしました。また、児童へのアンケートを、一人一台タブレット端末を使用しオンライン上で実施するなどし、ICTを活用しています。

京都市で働く魅力を教えてください!

生まれ育った京都で働きたかったので京都市に決めていました。研修も充実しており、教員がスキルを伸ばす体制が整っていることや、教員になる前から「京都教師塾」という教員を目指す学生、社会人への研修制度もあり、教員の資質を伸ばす機会が多いところが魅力だと思います。

京都市を目指す方に一言お願いします!

どこに行っても、一生懸命に生きている可愛い子ども達ばかりです。歴史を感じる地域で子ども達を慈しみながら、一緒に仕事ができることを楽しみにしています!



教員になってよかったと思った瞬間を教えてください!

人間関係でつらいことがあるけれど、親にも誰にも言えずにいた子どもを保健室でキャッチすることができ、そこから担任と連携し教室でフォローしてもらったことで、困りが解消し、子どもの成長に繋がったことがありました。

教員になって悩んだことはありますか? またそれをどう乗り越えられましたか?

各校一人しかいない職種のため、気軽に相談できる人がいないことが悩みでした。同期職員とは年齢幅は広いですが、仲が良く横のつながりができていたので、いろいろ相談することができ、気になったことや、各校の取組

現役教員に聞いてみた!～栄養教諭編～

京都市立西京極小学校
山口 紗世 栄養教諭
出身地：京都市
採用年度：令和3年度



多様な食文化が根付く京都は、最良の食育環境が整っています!

教員を目指したきっかけを教えてください!

私は食べるのが大好きで、「食」にとても興味がありました。そんな大好きな「食」について教えてくれる栄養教諭は小学校時代から私の憧れでした。中学校の授業で栄養教諭について調べ、食の学習だけではなく、給食管理や献立作成を行い、「食」を通して子どもたちの健康や成長をサポートする職業だということを知りました。この時、私の進みたい道はここだと思い、栄養教諭を志しました。



児童についてよく知っている担任の先生と給食の様子を共有し糸口を見つけたり、先輩の栄養教諭にアドバイスをいただいたりして、それぞれの児童に合った対応をするように心がけています。

京都で働く魅力は何ですか?

24年間京都に住み、京都で育った、住み慣れた大好きな京都市で働きたいという思いがありました。また、食育をしていくという点からみても、京都は歴史のある土地で、食も栄えています。伝統的な食生活を守りながらも、その伝統を壊さないよう、進化を続けています。そんな京都市は、食育活動をしていくにはとても良い場所だと思い京都市を選びました。

京都市を目指す方に一言お願いします!

京都市は、古き良き部分と、時代に沿った新しい部分が教育に織り込まれた場所だと思います。多方面からの刺激があるからこそ、子どもたちにも色々な視点で教育を行うことができ、教員にとっても、多くの学びの場があります。

教員は人の人生の一部に携わるとても責任のある仕事ですが、だからこそ、やりがいもあります。

一緒に学校現場で働けることを、楽しみにしています!



教員になってよかったと思った瞬間を教えてください!

学校生活の中で、給食を楽しみにしてくれたり、「おいしかった!」と笑顔で言ってくれり、とてもうれしくなります。これからも、子どもたちが喜んでくれるような、もっとおいしい献立を考えよう!と頑張る源になります。

教員になって悩んだことはありますか? またそれをどう乗り越えられましたか?

児童への言葉かけは今も悩んでいることです。食に課題を抱えた児童が食に興味を持ち、食事をするのが楽しいと思えるようにするためには、栄養教諭としてどうしていったらいいのか、とても難しいなと感じています。

現役教員に聞いてみた!～子育てとの両立編～

京都市立小野小学校
松蔭 麻衣 教諭
出身地：徳島県
採用年度：平成23年度



現在、育児短時間勤務制度を活用し、育児と両立しながら育成学級担任を務めています!

教員を目指したきっかけを教えてください!

とにかく子どもが好きで、子どもに関わる仕事がしたいと思っていました。企業への就職と迷う時期もありましたが、成人式の時に小学校時代の恩師と再会し話をする中で、小学生のときだけではなく大人になった今でも憧れる、こんな先生になりたいと思いました。そして、教育実習で子どもたちの素直でひたむきな姿に心打たれ、やはり教員になりたいと強く思いました。



他の日は子どもとゆっくり過ごしたり、家事などをやる時間になっています。子どものお迎え時間に間に合うように、その日の仕事の優先順位をつけて効率よく仕事することを意識しています。

職員室はどんな雰囲気ですか?

育児のために連日仕事を休まないといけない時、同僚の先生が「学校は誰かが代わりにしてくれるけど、お母さんは1人しかいないんだから、遠慮せずに休んで。」とってくださったことが本当にありがたかったです。職員室はいつも笑い声で溢れていて、管理職の先生が、家庭第一に考えてくださるのでとても働きやすい職場です。

教員になってよかったと思った瞬間を教えてください!

産休に入る時に、子どもたちと学年の先生が内緒で激励会の準備をしてくれました。今まで担任してきた3学年分の子どもたちの寄せ書きを子どもたちと保護者の方が集めてくれました。本当に嬉しくて子どもたちと一緒に号泣したのが思い出です。

誰かを喜ばせたい、勇気づけたい、そんな優しく純粋な子どもたちに出会い、心温まる感動があるのは教員の仕事だからこそだと思います。

育児との両立のために普段意識していることを教えてください!

子育てとの両立のために、育児短時間勤務で育成学級担任をしています。週3日出勤し、

京都市を目指す方に一言お願いします!

京都市は、子どもたちの学びの意欲を高めるために早い段階からICT機器や空調整備の全学級への導入を進めるなど、教室環境がとても整っていると思います。教員の仕事は、もちろん大変なことやしんどいこともありますが、それを吹き飛ばすぐらいの感動に出会うこともできる素晴らしい仕事だと思います。

子どもが心を開いてくれる瞬間に出会った時、大きなやりがいを感じますよ。



現役教員に聞いてみた!～民間経験者編～

京都市立勧修中学校
西村 優利 教諭
出身地：京都市
採用年度：令和3年度
教科：理科

前職の営業経験も、生徒とのかかわりの中で生かすことができました!



教員を目指したきっかけを教えてください!

高校時代の担任の先生が、私達のために行事や体育祭を企画してくれたおかげで、私は最高の高校生活を送ることができました。この担任の先生に影響を受け、教員を志しました。

実際には、一度一般企業に就職し、あきらめたかけた夢でしたが、仕事をしている中で、人と話すこと、人に説明することの楽しさを感じたことで、再度自分が目指していたものに気づき、教員になることを決意しました。

教員になってよかったと思った瞬間を教えてください!

前職でのルーティンワークからは想像できないほど変化に富んだ毎日で、日々子供たちの成長を発見できることに、やりがいを感じています。コロナによる休校期間中は、早く生徒たちが登校できないかなあとずっと思っていたくらいです。

忙しい時期もありますが、その分、生徒が卒業したときに良かったなと思える、非常に達成感を味わえる仕事だと思います。

前職の経験がどのような場面で生かされていますか?

前職は蒲鉾を作る食品メーカーの営業職をしていました。営業では、主に市場やスーパーに商品を売り込みに行く仕事を担当し、商品を売り込むために、常にお客様のことを考えて企画・提案することで、お客様との仲を深めていました。

その時にお客様が求めている物を考えて提案することを学び、今の教員人生でも、生徒とかかわることに生きていると考えています。



京都市を目指す方に一言お願いします!

一般企業に勤めていた4年間は理科からは程遠い世界であり、講師になった当初も教科を教えることに不安を感じていましたが、子どもと接する楽しさ、子どもが頑張る姿を見る中で、自分も目標に向かって頑張ろうという気になりました。

講師をしながらまた、一般企業で勤めながら教員試験の勉強をすることはすごく大変だと思いますが、目標に向かって頑張ってください!応援してます!

